

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	かぶしきがいしゃボックスよろづや 株式会社BOX4628
公演団体名	おきなわでんとうくみおどり　しー　かい 沖縄伝統組踊「子の会」

### 内容

コロナ対策の観点から、通常版からの一部改変や調整箇所を赤字にしております。

ワークショップ、本公演どちらも、学校に伺う前の対策として、来校者全員の2週間前からの検温・体調管理。学校に伺う当日の検温を行います。検温の記録はシートに記載し、開催校と共有致します。

また来校者全員マスク(不織布製)着用をし、入校の際も検温と消毒を行います。

ワークショップ、本公演どちらも、開催にあたり、当方の関係者(出演者・スタッフ)と鑑賞児童・生徒との距離の確保をいたします。

また、出演者が実演時のマスク等の着用についても、開催校と相談し臨機応変に対応し行います。

ワークショップ、本公演どちらも開催日当日、開催校と当方の代表者が、コロナ対策について、意見を交換し十分な対策を講じて取り組むことと致します。

### ※当方が持参するコロナ対策用の準備品

- ・アルコールスプレー
- ・除菌シート
- ・ビニール手袋
- ・フェイスシールド
- ・不織布マスク
- ・ゴミ用ビニール袋

# おきなわ伝統芸能 **『琉球舞踊』** と **『組踊』**

## ワークショップ プログラム

### 【1時間目】

- ① 琉球芸能についての、お話し
- ② 『琉球舞踊』 の特徴の紹介と体験
- ③ 『組踊』 の特徴の紹介と体験
- ④ 三線とパーランカーの構造や音色の紹介
- ⑤ エイサー体験コーナー 演舞曲：安里屋ユンタ
- ⑥ 質問コーナー

### 【2時間目】

☆エイサー演舞のお稽古の時間

- ① 代表児童・生徒全員にパーランカーを持ってもらいます
- ② 正しい、パーランカーの打ち方をお伝えします
- ③ 振付をいくつかのパートに分けて、繰返し練習します
- ④ 最後に、三線の演奏「安里屋ユンタ」の曲に合せて通しリハーサルを行います

初めに琉球舞踊の基礎知識をお話しし、続いて琉球舞踊の手踊りを3種類体験して頂きます。

組踊も同様に基礎知識をお話しして、組踊の男女の座り方を体験して頂きます。

次に沖縄芸能に欠かせない楽器「三線」を紹介して音色を聞いて頂きます。

最後にエイサーの体験です。児童・生徒にパーランカーを配布して、三線の演奏と唄に合わせて、八重山民謡「安里屋ユンタ」のエイサー演舞を体験して頂きます。

こうして「琉球舞踊」「組踊」「エイサー」3つの芸能を紹介し体験してもらいます。

## ① 琉球芸能についての、お話し

成立立ちや基礎知識を紹介します

- ☆ ホワイトボードや黒板などを使って、お話を進めます



琉球芸能のお話をしている様子

## ② 『琉球舞踊』 の特徴の紹介と体験

手を使った表現（手踊り）と歩き方を体験してみましょう

- ☆ 手を使った表現（手踊り）を紹介します

「招き手」「こねり手」「かえし手」です。

幸せを呼び込み、その幸せを皆さんにお配りする、という思いが込められています。

- ☆ 歩き方は、足を上げず、足の長さ分だけ進む摺り足です



児童・生徒が手踊りをしている様子

### ③『組踊』の特徴の紹介と体験

役柄によるセリフ（唱え）分けと、座り方の違いを体験してみましょう

☆ セリフ分けは、老若男女でそれぞれ異なった話し方をします

☆ 男女の役柄で座り方の違いを体験します。左足を立て膝にして、

膝頭が身体の外側に有るのが男性、内側に有るのが女性の座り方です。



左が男性役、右が女性役の座り方

### ④三線とパーランカーの構造や音色を紹介します

☆ 三線の竿の部分は黒木、胴の部分は木材の枠に、ニシキヘビの皮が張ってあります

☆ パーランカーはエイサー体験で使用する楽器です



三線



パーランカー



衣装

## ⑤ エイサー体験コーナー (演舞曲：安里屋ユンタ)

児童・生徒、全員に、パーランクーとバチを持ってもらい、

指導者が前に立ち、振付を繰返し覚えながら、エイサーの体験です

※なお、児童生徒間にて楽器の持ち替えが発生する場合は、その都度、パーランクーとバチを除菌シートで消毒してから配布いたします。



パーランクーを持ってエイサー体験の様子

## ⑥ 質問コーナー

児童・生徒が、初めて触れる琉球芸能の、疑問・質問にお答えします

## ワークショップ プログラム

### 【2時間目】

代表児童・生徒と、本公演に於いて演舞を行うエイサーのお稽古の時間となります。  
代表児童・生徒はパーランカーを持ち、振付や打つタイミングを練習します。  
初めてエイサーに触れる児童・生徒にも指導者が丁寧に指導致します。

#### ☆ エイサー演舞のお稽古の時間となります

- ① 代表児童・生徒全員にパーランカーを持ってもらいます
- ② 正しい、パーランカーの打ち方をお伝えします
- ③ 振付をいくつかのパートに分けて、繰返し練習します

※なお、児童生徒間にて楽器の持ち替えが発生する場合は、その都度、パーランカーとバチを除菌シートで消毒してから配布いたします。

- ④ 最後に、三線の演奏「安里屋ユンタ」の曲に合せて  
通しリハーサルを行います



三線の演奏に合わせて通しリハーサルの様子

コロナ対策として、各学校の要望に柔軟に対応致します。

希望調書に沿った内容で開催出来なかった場合には、下記の対応策、代替措置などを行う予定でございます。

※対応策、代替措置の例

- ・開催場所の変更
- ・鑑賞児童・生徒の人数調整
- ・ワークショップの開催を、本公演当日に実施
- ・教材送付（映像＆ワークシート）

タイムスケジュール（標準）

ワークショップ開始の1時間前に学校到着し着替えと準備を行います。

1時限目：全校児童・生徒の方々を対象に行います（45～50分程度）

休憩時間10分

2時限目：体験者代表による、演舞の練習時間になります（45～50分程度）

終了後、着替えと片付けを行い、約30分程度で退校いたします。

※実施時間の調整(短縮など)

派遣者数 **※派遣者数の内訳を御入力ください**

主指導者：1名

補助者：4名

スタッフ：1名

合計：6名

学校における事前指導

特にございません。

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## 本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	かぶしきがいしゃボックスよろづや 株式会社BOX4628
公演団体名	おきなわでんとうくみおどり しー かい 沖縄伝統組踊「子の会」

### 演目

コロナ対策の観点から、通常版からの一部改変や調整箇所を赤字にしております。

ワークショップ、本公演どちらも、学校に伺う前の対策として、来校者全員の2週間前からの検温・体調管理。学校に伺う当日の検温を行います。検温の記録はシートに記載し、開催校と共有致します。

また来校者全員マスク(不織布製)着用をし、入校の際も検温と消毒を行います。

ワークショップ、本公演どちらも、開催にあたり、当方の関係者(出演者・スタッフ)と鑑賞児童・生徒との距離の確保をいたします。

また、出演者が実演時のマスク等の着用についても、開催校と相談し臨機応変に対応し行います。

ワークショップ、本公演どちらも開催日当日、開催校と当方の代表者が、コロナ対策について、意見を交換し十分な対策を講じて取り組むことと致します。

### ※当方が持参するコロナ対策用の準備品

- ・アルコールスプレー
- ・除菌シート
- ・ビニール手袋
- ・フェイスシールド
- ・不織布マスク
- ・ゴミ用ビニール袋

# おきなわ伝統芸能 『琉球舞踊』 と 『組踊』

## 本公演 プログラム

### 【第1部】

- ① 琉球舞踊 『四つ竹』（踊りこはでさ節） 種類：古典女踊り

振付・監修：志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊立方」（各個認定）

人間国宝、琉球舞踊重踊流宗家

- ② 琉球舞踊 『四つ竹』の作品紹介とあらすじのお話

- ③ 「沖縄ことばクイズ」・「楽器紹介」・「沖縄音楽ミニコンサート」

- ④ 「エイサー演舞発表コーナー」★代表児童・生徒による演舞発表コーナー

演舞曲：「安里屋ユンタ」（安里屋節）種類：沖縄県八重山民謡／作詞：星克

### 【第2部】

- ⑤ 組踊 『万歳敵討』の作品紹介とあらすじのお話

- ⑥ 組踊 『万歳敵討』種類：仇討物／作者：田里朝直

初演：1756年尚穆王冊封の宴で上演

監修：宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊立方」（各個認定）

人間国宝、宮城本流鳳乃會家元

公演時間（90分）

**派遣者数** **※派遣者数の内訳を御入力ください**

出演者 : 19名

スタッフ : 6名

合計 : 25名

**タイムスケジュール（標準）**

9時20分 学校(会場)到着 出演者・スタッフ全員

9時30分 搬入・仕込み

13時30分 本公演 開演 (休憩10分程度)

15時00分 本公演 終演

15時15分 撤去 (児童・生徒退場後)

16時30分 退出

**※実施時間の調整(短縮など)**

**実施校への協力依頼人員**

会場となる場所が、2階や3階となる場合は、搬入の際に、数名の方にお手伝いをお願い出来ますでしょうか。

## 演目解説

### 【第1部】

#### ① 琉球舞踊『四つ竹』上演

プログラムの始めに沖縄の空気や風を感じていただきます。

竹で作られたカスタネットのような鳴り物、四つ竹を両手に持ち、それを「踊りこはでさ節」に乗せてカチカチと打ち鳴らしながら踊ります。

衣装は沖縄を代表する伝統的な染色技法で染められた、艶やかな紅型衣装を身にまといい、頭に花笠を被り、(歌詞)「四つ竹を打ち鳴らし鳴らして、今日はこのようなおめでたいお座敷で、踊り遊ぶことの嬉しさよ」と優雅に華やかに踊ります。



琉球舞踊『四つ竹』上演のシーン  
お客様をおもてなしする時に、踊られる舞踊です

#### ② 琉球舞踊『四つ竹』の作品紹介と、あらすじのお話

・案内役が、児童・生徒の頭に絵を描くように、丁寧にお話します

#### ③ 「沖縄ことばクイズ」

・沖縄県の方言ウチナーグチを、クイズ形式で紹介します



案内役が丁寧にプログラムを進めます



沖縄ことばクイズをリーンに投影します

### 地謡（演奏家）による「楽器紹介」

地謡のみなさんが、5種類の楽器を紹介します。

それぞれ短いフレーズのメロディを演奏します、音色を聞いてみましょう

### 「沖縄音楽ミニコンサート」

古典音楽、沖縄民謡、現代音楽の各ジャンルから、それぞれ1曲ずつ演奏します、

音色の違いを聞き比べてみましょう



地謡(演奏家のみなさん)

#### ④ エイサー演舞発表コーナー

エイサーは昨今では全国的に広まった沖縄の民俗芸能です。

1603年から1606年にかけて当時の琉球王である向寧王の知遇を得た浄土宗の「袋中上人」が仏典を踊りながら唱える"念佛踊り"を伝え、沖縄独自の仏典踊りの形態であるエイサーへと発展したと言われています。

今回、演奏される「安里屋ユンタ」は、古謡の「安里屋ユンタ」ではなく、1934年に標準語でレコード化された曲となります。

安里屋は屋号を意味しており、ユンタとは八重山民謡の形式の1つです。八重山諸島で歌われる仕事唄、労働歌です。



地謡の生演奏による、児童・生徒のエイサー演舞シーン  
演舞曲:「安里屋ユンタ」ワークショップと本公演までの練習の成果を発表してください

### 【第2部】

#### ⑤ 組踊『万歳敵討』の作品紹介とあらすじのお話

- 案内役が、児童・生徒の頭に絵を描くように、丁寧にお話します

## ⑥ 組踊 『万歳敵討』 上演

首里に高い位の高平良御鎖という、とても傲慢な人がいました。

高平良御鎖は大謝名の比屋という人が飼っていた、よく走る立派な名馬を欲しがっていました。高平良御鎖は大謝名の比屋に譲ってくれるようにと頼みますが、断られたことを恨みに思い、大謝名の比屋を殺してしまいます。

殺された大謝名の比屋には、2人の兄弟がいました。兄は謝名の子、弟は慶雲と言います。父を殺された兄弟は、旅芸人に姿を変えて仇討ちの機会を狙っています。

最後に仇討ちを遂げることが出来るでしょうか。終盤の兄弟が敵意を剥き出しにして高平良御鎖に迫ります、その気迫に満ちた息の合った舞踊と所作、それを必死にかわそうとする高平良御鎖、緊張感のある緊迫したシーンが見どころです。



組踊『万歳敵討』上演のシーン  
弟の慶雲(左側)、兄の謝名の子(中央)、敵の高平良御鎖(右側)

## カーテンコール

出演者全員、舞台に登場し最後にご挨拶を致します

**コロナ対策として、各学校の要望に柔軟に対応致します。**  
希望調書に沿った内容で開催出来なかった場合には、下記の対応策、代替措置などを行う予定でございます。

#### ※対応策、代替措置の例

- ・開催場所の変更
- ・鑑賞児童・生徒の人数調整
- ・オンライン鑑賞(短縮版)

オンライン鑑賞(短縮版)の場合、プログラムの中から演目、琉球舞踊『四つ竹』と、組踊『万歳敵討』のみの上演も可能です。また、終演後にZoomやMeet等の会議ツールを使って感想を伺ったり、質疑応答を行う交流タイムを設けることもできます。

#### 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

代表児童・生徒による、エイサー演舞の発表をしていただきます。

演舞曲は「安里屋ユンタ」（沖縄県八重山民謡）です（プログラム④）

①代表児童・生徒は、本公演1部の最後に、舞台袖で支度をしてもらいます。体操着の上に打掛け(衣装)を羽織、帯を締めて、手にはパーランクーとバチをそれぞれ持ります。他の児童・生徒は、代+表児童・生徒が支度している間、ステージ横に設置したスクリーンに映し出される安里屋ユンタの歌詞を見ながら、案内役と一緒に地謡の演奏「安里屋ユンタ」に合わせてお囃子(手拍子)の練習を行います。

②代表児童・生徒の支度が整ったら地謡の演奏に合わせて、体育館内のそれぞれの決まった場所へ移動します。いよいよエイサー演舞の発表です。地謡の生演奏で「安里屋ユンタ」の曲に合わせて演舞を行います。他の児童・生徒は練習したお囃子(手拍子)で盛り上げます。会場全体が一体となり、楽しい雰囲気を作り出します。

※代表児童・生徒は、本公演当日、公演の前にリハーサルを行って本番を迎えます。

※地謡とは、琉球舞踊、組踊の上演の際に、伴奏を行う、三線・箏・胡弓・笛・太鼓の演奏家の皆さんのことと言います。本公演に於いて体育館ステージの右側に台組をして正座をして演奏致します。

### **児童生徒とのふれあい**

案内役が積極的に児童・生徒のみなさんと言葉を交わしてコーナーを進めます。

終演後に代表者からの感想を聞いております。

終演後に学校側からのご意向があれば、伝統的な琉球舞踊・組踊の衣装を身に着けた出演者の皆さんとの記念撮影を行います。

感想文などがある場合は、出演者の皆さんに読んでいただいております。